

# 「場」を問い直す「場」

—研究と実践の蓄積と体系化を目指して—

事前申し込みが必要です

## ■ 話題提供 ■

大平幸さん（山梨学院大学）  
八木真奈美さん（駿河台大学）  
嶋津百代さん（関西大学）  
三代純平さん（武蔵野美術大学）

参加費無料

## ■ 日時 ■

2020年 11月7日（土） 10：00～12：30

オンライン開催（Zoom） 定員：40名

（定員に達し次第、締め切らせていただきます）

お申込みはこちらから→ <https://bit.ly/3cGpBJa>

本企画では、近年、大きく変化しつつある日本語教育研究において、様々な文脈にわたる研究や実践を捉えるための枠組みとして、また、ことばと学びの活動をより深く理解するための視点として、「場」を取り上げます。「場」は日常的に使用されていることばであるがゆえに、その定義は多様に可能です。多様に解釈可能である「場」を切り口に、日本語教育あるいは日本語学習をめぐる議論の中で、「場」がどのような意味を持つか、「場」が与える学びの性質にはどのようなものがあるかを、4人の話題提供がかかわるそれぞれの「場」をもとに考えていきます。

なお、話題提供後は、「皆さんにとっての「場」とは何か」という問いを出発点とし、参加者の皆さんとのディスカッションを行います。わたしたちは日々複層的な文脈にまたがって活動しています。そして、その活動のどの側面を焦点化させるかによって、「場」は異なる姿をあらわします。ディスカッションにおいて、参加者の皆さんと、「場」を視点に、あるいは枠組みにして捉えた研究や実践について語り、対話を積み重ねることで、多様で流動的で創造的な「場」を、可能な限り捉えていきたいと思えます。

このような願いから、今回は参加者の方の人数に定員を設けさせていただきました。わたしたちと一緒に「場」について考えてくださる方の参加をお待ちしています。

※非会員の方もご参加になれます。

お問い合わせ：言語文化教育研究学会企画委員会 Email:project@alce.jp

